

手術時の安全・業務軽減に寄与する

注射薬認識システム

iMRS

Injection Medicine Recognition System



iMRSの紹介動画はこちら▼



<https://youtu.be/PVfB2nxbR4>

注射薬管理でのお悩み

お悩み

A

手術中のスタッフは患者の安全を優先するため、麻酔記録システムや電子カルテの記入漏れが発生し、国への請求が行えないことが多発している。



お悩み

B

慎重に注射器の準備を行っても、患者への投与時に誤りが生じることがある。



お悩み

C

手術中にリアルタイムで請求誤差を防止したい。麻酔記録システムの入力を効率的に行いたい。



お悩み

D

使用した薬品の補充を効率的に行いたい。



iMRSがお悩みを解消!

01 注射薬の準備をより安全に行いたい 安全サポート

お悩み

B

解消

薬品の吸い取り

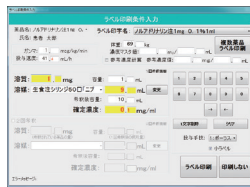
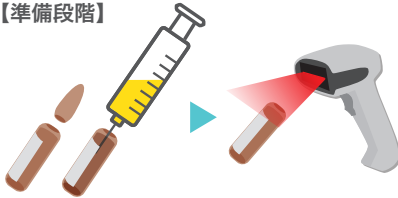
薬品の読み取り

画面で情報確認

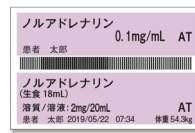
ラベルを出力

ラベルを貼付

【準備段階】



ガンマ値、投与速度、濃度、溶媒の値を変更すると自動的に計算



日本麻酔学会が推奨する仕様にしたシリンジ用ラベル

(薬効分類)	(背景色の参考)
導入薬	オレンジ
ベンゾジアゼピン拮抗薬	赤
筋弛緩拮抗薬	青
筋弛緩拮抗薬	緑
オピオイド	紫
オピオイド拮抗薬	黄
昇圧薬	白
降圧薬	黒
局所麻酔薬	茶
抗コリン薬	灰
メジャー/マイナー/製法	その他
その他の薬剤	



02 時間を有効に使いたい 業務効率化サポート

お悩み

C

解消

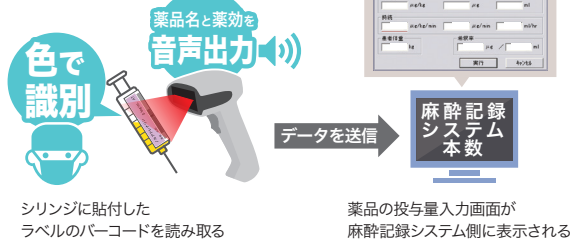
お悩み

D

解消

電子麻酔記録への入力をより確実に

【投与時】



補充で困っている看護師様へ



03 使用済薬剤を手動でカウントは不安 請求誤差防止サポート

お悩み

A

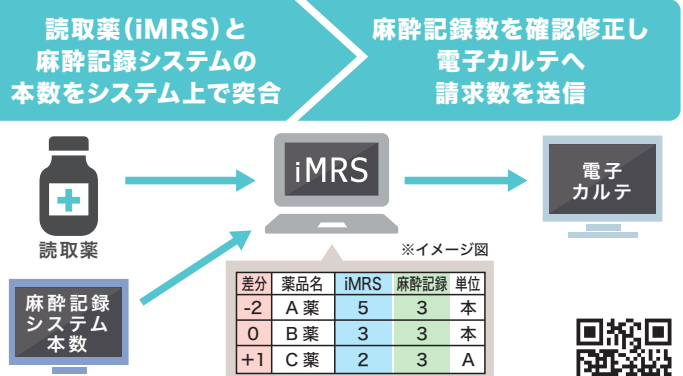
解消

お悩み

C

解消

手術中に麻酔記録システムとの誤差が確認できる!!



iMRS ▶ 麻酔記録システム ▶ 電子カルテのデータ送信構築も可能



<http://solve-design.co.jp/ipchart/>

